

私大図協・東・研・2013-43
2013年10月18日

加盟大学図書館長 殿

私立大学図書館協会
東地区部会研究部担当理事校
専修大学図書館
館長 大庭 健
【公印省略】

2013年度 研究分科会報告大会開催のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より、私立大学図書館協会東地区部会研究部の活動にご協力いただき厚く御礼申し上げます。

さてこのたび、標記研究分科会報告大会を下記のとおり開催することになりました。この研究分科会報告大会は、6研究分科会が2年間（2012～2013年度）にわたり調査研究した成果を、研修分科会が1年間（2013年度）の研修成果を発表する場となっております。

つきましては、館務ご繁忙のところを誠に恐縮ですが、貴館職員の参加につきましてご高配いただきたくよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 日 時 2013年12月12日（木） 9：40～16：55（受付開始 9：00）
2. 定 員 100名
3. 会 場 専修大学 生田キャンパス 9号館2階 92A会議室
所在地 〒214-8580 神奈川県川崎市多摩区東三田2-1-1
<http://www.senshu-u.ac.jp/univguide/profile/access.html>
4. 申込方法と締切：
参加ご希望の方は以下①～⑥をご記入の上、E-mailにてお申し込みください。
（研究分科会報告大会発表者及び機器操作者・分科会代表者は除く）

申込用アドレス：eastlib@acc.senshu-u.ac.jp

発信者：参加希望者本人のアドレスから送信してください。

メール件名：「12/12 参加申込（大学名）」

メール本文：①図書館名 ②参加希望者名（漢字） ③参加希望者名（カナ）
④参加形態（ABCをご記入ください）
A：1日 B：午前のみ C：午後のみ
⑤電話番号 ⑥学内の参加希望順位（複数参加の場合のみ）

申込締切：11月26日（火）

担当：専修大学 齋藤・宇野

※定員超過でご辞退をお願いする方へのみ、11月29日（金）までにお申し込みいただいたメールアドレスへご連絡いたします。

※このご案内は私立大学図書館協会のホームページにも掲載しています。

<http://www.jaspul.org/east/collegium/index.html>

5. 発表概要（発表時間）

【分類研究分科会】（9:50～10:35）

見えてきた「日本十進分類法」新訂10版

（研究発表要旨）

「日本十進分類法」新訂10版（以下NDC10版）は、11月の試案説明会に際して2014年刊行予定であると発表された。

当会では2009年度以降、NDC10版の試案に対して問題点や改訂の効果を検討し、また日本図書館協会分類委員会に対し過去3度にわたり意見書を提出してきた。今回の発表は、前回発表後に公開された各試案を中心に、刊行を目前に控えたNDC10版の問題点等を整理する。

発表者： 藤倉 恵一（文教大学）

【西洋古版本研究分科会】（10:40～11:25）

「チョーサー著作集」の魅力

（研究発表要旨）

世界の3大美書のひとつと言われているウィリアム・モリスの刊行した「チョーサー著作集」を分析。書誌学的な特徴と発行元のケルムスコットプレス of の歴史的な役割を発表する。また、西洋の古典籍を整理する時に役立つと思われる用語やウェブサイトについての紹介も行う。

発表者： 岡田 勢一郎（共立女子大学） 宮原 柔太郎（日本体育大学）

【和漢古典籍研究分科会】（11:30～12:15）

戯作者たちの書物と薬の広告（専修大学向井信夫文庫所蔵の和本にみえる）

（研究発表要旨）

現在出版されている書物にも広告が掲載されていますが、江戸時代の和装本にも同じように広告が掲載されています。広告の内容としては蔵版目録や新刊目録が中心である一方、意外にも薬や化粧品の広告が多いことに気がつきました。薬や化粧品の広告について調べていくうちに見えてきた江戸時代の庶民と書物の係わりについて発表します。

発表者： 山岸 いづみ（共立女子大学） 七島 美和子（専修大学）
鶴田 香織（大東文化大学） 植苗 翔（中央大学）
鈴木 秀子（明治大学） 横山 侑子（立正大学）

【パブリックサービス研究分科会】 (13:30～14:15)

始めてみよう！図書館サービス・スタートブック

～図書館サービスの現場から～

(研究発表要旨)

テーマ「始めてみよう！図書館サービス・スタートブック」のもと、サービスを新しく始めたり、改善する際に参考となるスタートブックを作成するため、質問紙によるサービス事例調査や見学調査を行った。その結果を「空間の活用」「学生と協働」「教員と協働」「他部署と協働」の4つのテーマに分けて紹介し、まとめ・提言を行う。

発表者： 太田 優未 (立正大学) 奥井 翔太 (文化学園大学)
鴨下 歩美 (大正大学) 高島 豊 (獨協大学)
田中 優美 (駒澤大学) 富樫 早苗 (東海大学)

【企画広報研究分科会】 (14:20～15:05)

ムービーを利用した活動の研究

～インパクトと効率性の追求～

(研究発表要旨)

写真や動画に音楽やナレーションを組合せてムービーを作るデジタル・ストーリー・テリングという手法は、米国大学で論文の代わりとして一部認められている。現在、誰もがスマートフォン等で写真や動画を撮り、編集できる。これを図書館で活用することでどのような効果があるか。世界的に動画を活用した授業が注目されている中、身近な機材で行った研究結果を報告する。

発表者： 粕川 悠介 (成城大学) 島田 貴司 (立正大学)

【Lーラーニング学習支援システム研究分科会】 (15:20～16:05)

図書館員のコミュニティツールとしての SNS の可能性

～Twitter、facebook、LINE の試用～

(研究発表要旨)

業務の多様化や職員数の減少などにより、様々な課題に対し少人数で対応せざるをえない図書館が増えており、他館との情報交換を求める声も少なくない。そこで、容易に相談や意見交換を行うための新たなコミュニティツール、情報共有ツールとして SNS に注目し、そのメリット、デメリットについて検討を行った。

発表者： 佐藤 恵 (東北学院大学) 澁田 勝 (獨協大学)

【研修分科会】 (16:10～16:55)

変わりゆく図書館、変わらなければならない図書館員

(研究発表要旨)

年6回の研修分科会の概要を報告し、そこから得た知識をもとに、参加会員自身の業務と図書館の将来をみつめます。

発表者： 浅田 美和 (法政大学) 曾野 正士 (明治大学)
紀平 宏子 (国際基督教大学)

以上